



作者の言葉  
我が百合丘ロータリークラブのシンボルである百合の花は、地味には有る様にか、この多岐上はのありに思ふ大器出で、知る化の落により、花され少く、初夏、ちると、散らす、小、路に、その香、清、風、に、乙、せ、を、感、せ、せ、と、あ、る、日、大、大、五、

# Weekly Report

2016～2017年度

平成29年1月31日(火) 第**1845**回例会

◆会長：北島 克己 ◆幹事：親松 裕明 ◆会報：中村 和広

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30  
例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ  
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

## 第1845回例会記録 平成29年1月31日(火) 28/48回

<点鐘> 北島会長

<ソング> 我等の生業

<お客様ご紹介> 北島会長

- 川崎市長 福田紀彦様
- 川崎市長 秘書 高木一様
- 東京たまがわRC 磯篤明様
- 川崎西RC 藤田茂樹様
- 川崎西北RC 幹事 吉場八重子様
- 川崎麻生RC 会長 志村幸男様
- 川崎麻生RC 幹事 白井勉様
- 川崎麻生RC 鈴木憲治様
- 川崎麻生RC 鈴木昭弘様
- 川崎麻生RC 鈴木真一様
- 川崎麻生RC 木村良三様

<会長報告> 北島会長

1. ロータリー経営大講演会の一般の方向けのチラシの配布と活用について 次週例会時にポストインいたします。
2. 東京RC熊平会員より「抜萃の綴つゞり」着ポストインしております。
3. 川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)2017の総合パンフレット配布について ご覧ください。

<幹事報告> 親松幹事

\*例会変更 川崎大師RC

\*その他

・2月ロータリーレート 1\$=116円

・メイクアップツアー予定

川崎西北RC 2/23(木) 18:30 柏屋

卓話者 横浜中RC 金子大ガバナナーノミニ

『地域におけるロータリー活動の重要性』

入会3年未満の会員に方、是非参加できるようスケジュール調整お願いいたします。

<ニコニコ委員会>

阿久澤委員長

川崎西RC 藤田茂樹様→「本日メイクアップをさせていただきます」。川崎西北RC 吉場八重子幹事様→「本日、宜しくお願いたします」。川崎麻生RC 志村幸男会長様→「本日は、福田市長の卓話で参りました。宜しくお願いたします」。川崎麻生RC 白井勉幹事様→「よろしくお願いたします」。川崎麻生RC 鈴木憲治様→「2月24日の麻生RCの周年行事をよろしくお願いたします」。川崎麻生RC 鈴木昭弘様→「いつも大変お世話になっております」。川崎麻生RC 鈴木真一様→「お世話になります」。川崎麻生RC 木村良三様→「よろしくお願いたします」。当クラブより北島会長→「福田市長、ようこそ。卓話宜しくお願いたします」。親松幹事→「本日はたくさんのお客様、ようこそおいで下さいました」。中村会員→「『箱根・小田原ごちそう大図鑑』を出版させていただきましたので、謹呈させていただきます。是非食べ歩きにご活用ください」。以下、感謝をこめてニコニコへ。赤本会員、安藤美恵子会員、安藤亨会員、畠山会員、井上勇会員、石野会員、鴨志田会員、勝田会員、小林会員、中島健児会員、中島真一会員、野島会員、大矢会員、尾崎会員、坂井会員、嶋会員、鈴木文夫会員、玉井会員、

第1847回 2月14日 会員卓話

第1848回 2月21日 クラブ協議会

第1849回 2月28日 招聘卓話

渡邊会員、結城会員、阿久澤会員。

<出席委員会>

結城委員長

	会員	出席	欠席	マーク	出席率
第1845回	42	29	13		69.05%
第1844回	42	42			100%

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	32件	34,000円	761件	834,080円
財団	0件	0円	17件	237,000円
ベネファクター	0件	0円	1件	106,000円
米山	0件	0円	22件	290,000円

本日のプログラム

<招聘卓話>

川崎市長 福田紀彦様

私は百合丘で育ち、中学3年の際に親の仕事の関係でアメリカのアトランタに行く事となりました。アメリカに留学しなければ政治の道には進んでいなかったと思います。アメリカでは18才から選挙権を持つので、公立高校の授業でも常に意見が交わされるほど政治は生活の中でとても身近な存在でありました。先日のアメリカ大統領選挙でトランプ氏が勝利し大統領となりましたが、私の生涯でこれ以上の驚きはないであろうということの一つとなりました。

本日卓話をするにあたり、「ロータリーの友」を読みました。ポール・ハリス氏の『政治も宗教も関係なく、お互いに色々な事を言い合って認め合える社会が大事だ。ロータリーの会合に来たら故郷にきたような…』とあって、こういう寛容の精神が今の時代に求められていると思いました。これを川崎市の中でどうやって、多世代や異業種間での絆作り、世の中の関係が希薄な中で疑似的でもつながる、これをやらないと超人口減少社会を乗り切る事ができません。現在1億2,500万人の日本の人口は、今後100年後の人口推計では4,800万人で、人口は明治時代と同じですが、その中の高齢者率は40%もあり明治時代の高齢者比率2、3パーセントとは違うものです。どんな事をどんな経済対策をやっても絶対に維持することはできない状況となります。いかに人口を減らさないようにするかが最大の景気対策であり、国も地方自治も全力でやり遂げるかがこの国存続の唯一の方法なのです。

市政の考え方 将来のビジョン

成長と成熟による持続可能なまち

安心のふるさとづくり

力強い産業都市づくり

市政運営の基本姿勢

対話 × 現場主義

子育て政策について

- 待機児童対策…安心して預けられる多様な保育の仕組み
- 小児医療費助成…小学3年生まで無償、4年生～6年生窓口で1回500円
- 公立中学校での給食制度導入…タニタとコラボ健康給食9割米飯・食育
- 習熟度別クラス…今後全市展開

介護政策について

- 介護報酬の仕組みについて…介護報酬の仕組みの矛盾をなくし、介護を受ける人、働く人、事業者にとっても嬉しい、介護のかかる予算を抑制しながら持続可能なモデルをやっていく。

多世代のつながり

- 寺子屋…地域で眠っている人材を活かす。平日は学習支援、土日は昔遊びなど、親や先生以外の大人との関わり合い、機会の提案。ハードとソフトの多世代の相互交流。

京浜臨海部の開発について

- ライフサイエンス分野の一大集積地(旧イスズ自動車工場跡、40ha) 羽田空港との一体化で2020年までに橋を架ける予定。

新しい産業を作っていくことが持続可能な力強い産業都市を作って、安心のふるさとづくりの政策を打っていく、このバランスも一方の取り組みです。川崎モデルをどう作り出していくか、一つ一つ積み重ねて川崎で成功させて他へ提案し、その全てがまた川崎市に還元されていくのですから。

卓話の後、会員からあざみ野～新百合ヶ丘間の地下鉄工事の進捗についての質問があり、福田市長からの解答は予算発表でとありました。

